

## 令和 2 年度及び令和 3 年度 専門部会の活動について

部会名	子ども部会
目的	障害福祉分野だけでは解決できない障害児の課題について、分野を超えて関係機関が集まって課題解決に向けて具体的な協議を実施する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児等に係る課題の共有及び解決に関すること。</li> <li>・障がい児等の支援の連携に関すること。</li> </ul>
部会員	自立支援協議会委員：飯塚委員（部会長）、本杉委員 関係機関：静岡北特別支援学校、当事者団体、障害福祉サービス事業所、児童発達支援センター、発達障害者支援センター、障害者相談支援推進センター、児童相談所、特別支援教育センター、障害福祉企画課 事務局：サポートセンターコンパス北斗
令和 2 年度 活動内容	令和元年度に実施した事業所向けアンケート結果について ① アンケート結果をカテゴリー分けするための作業部会を実施し、要望や意見を情報提供する課や連絡会を確認した。 ② 令和 3 年度に子ども部会で取りあげる課題について検討した。 ③ アンケート結果のホームページ掲載内容が決定した。
令和 3 年度 活動内容	<b>【取り組む活動内容】</b> ① 障害児に計画相談をつなげる仕組みを検討 ・相談支援部会と相互に情報交換を行う。・委託相談支援事業所の案内方法の検討。 ② 児童発達支援事業所連絡会、放課後等デイサービス連絡会の活動内容について情報共有や児童発達支援事業所一覧の配布先の検討 ・事業所一覧の配布先の検討、掲載方法の検討。・活動内容の情報共有。 ③ 市外から静岡市に戻る強度行動障がい児の受け入れ先不足に対する取組を検討 ・強度行動障害の児童の受け入れ先検討のための場の検討。 ・フローチャートの作成等による仕組化を図り、移行が計画的に進むようにする。 ④ 障がい児の就学に関する課題を検討 4-1 こども園、幼稚園からの就学までの流れが、保護者へと伝わっていない。周知されていない。 ・就学の流れについて周知方法の検討・フローチャートの作成検討 4-2 1 歳 6 カ月の検診等で言葉の発達が見られた時に、どこに繋げたらよいか、どの時期で繋げるのが良いのかの判断が不明確。 ・子育てに関する情報提供の内容と方法を検討 <b>【部会の開催予定】</b> ・令和 3 年 6 月 24 日、第 1 回部会開催。 部会員の中から、各課題について担当を決め、担当者中心に進めていくことの確認、承認。 ・令和 3 年度第 2 回こども部会開催（令和 3 年 11 月予定） ・令和 3 年度第 3 回こども部会開催（令和 4 年 3 月予定）

令和 2 年度及び令和 3 年度 専門部会の活動について

部会名	地域移行支援部会
目的	障害者の地域移行の推進や安心・安定した地域生活を実現、継続するための支援体制を整備する。
役割・内容	地域にある課題について、部会及びワーキンググループで出来ることを検討し、他機関・他職種等と連携を図りながら、課題解決に向けて実践する。
部会員	<p>自立支援協議会委員：中村委員(部会長)、勝又委員</p> <p>関係機関：静岡県精神科病院協会、日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県弁護士会、静岡県作業療法士会、静岡県精神保健福祉士協会、精神障がい者家族会、静岡市民生委員児童委員協議会、基幹相談支援センター、精神系相談支援事業所、ワーキンググループ長、ピアサポーター、こころの健康センター、精神保健福祉課</p> <p>事務局：精神保健福祉課、障害福祉企画課</p>
令和 2 年度 活動内容	<p>1 地域移行支援部会（開催：年 2 回）の協議内容 【協議内容】 ・退院支援専任相談員の取組状況と課題について ・「安心できる暮らし」の実現と事業について ・「ピアサポーター」について ・ワーキンググループ活動について ・静岡市障がい者共生のまちづくり計画について</p> <p>2 地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月 1 回）</p> <p>① 退院支援専任相談員の PR ポスターを作成し、各精神科病院へ配布・掲示</p> <p>② 住まいの体制作り：住宅あっせん事業に向けた申請書式等の作成、宅建協会への研修調整</p> <p>③ 院内研修：精神科病院で地域移行について研修を実施（1 回）</p> <p>④ ピアサポート勉強会の開催（1 回）、フォローアップ活動の開催（1 回）</p>
令和 3 年度 活動内容	<p>1 高齢分野との連携づくり 高齢精神障害者の地域移行やスムーズな介護サービスの利用に向けた相互理解を推進する 8050 問題を軸に障害・高齢分野合同でモデル的に研修を開催し、次年度へ繋げる</p> <p>2 すまいの体制づくり 宅建協会ですまいの研修を開催 住宅あっせん事業の運用開始</p> <p>3 ピアサポートの体制づくり ピアサポーター勉強会の継続開催 ピアサポーター向け交流会のサポート 県精神障害者ピアサポーター養成研修の共催</p>

令和2年度及び令和3年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援部会
目的	相談支援事業における課題を整理し、また相談支援事業に携わる関係者同士のネットワークを構築することにより、障害のある方が安心してサービスを利用し、日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援事業の充実を図る。
役割・内容	主要課題である相談支援専門員の数の確保と質の向上について模索・検討する。
部会員	<p>自立支援協議会委員：遠藤委員、飯塚委員、川島委員</p> <p>関係機関：静岡市支援センターなごやか（部会長）、静岡済生会療育センター令和「やさしい街に」、地域生活支援ネットワークコーディネーター、特定相談支援事業所、障害者相談支援推進センター、障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課</p> <p>事務局：はーとばる</p>
令和2年度 活動内容	<p>(1) プロジェクトチームの活動</p> <p>【内容】「利用者・事業所へのお願いチラシ作成」</p> <p>【目的】利用者や事業所に対して、改めて計画相談の業務内容を周知し、理解してもらうことで、計画相談の業務における緊密な連携と、計画相談事業所の負担軽減を図る。</p> <p>(2) 勉強会の活動</p> <p>① 相談支援事業所リストの更新・配布</p> <p>② 第1回勉強会：令和2年9月11日（金）</p> <p>【内容】・プロジェクトチームの活動報告</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対応実態調査結果報告</p> <p>・グループワーク「コロナを通じて緊急対応を考える」</p> <p>③ 第2回勉強会：令和3年2月19日（金）</p> <p>【内容】・障害のある方への災害時の対応支援について</p> <p>・質の高い相談支援を提供するための報酬体系の見直しについて</p>
令和3年度 活動内容	<p>(1) ワーキンググループの活動</p> <p>「災害時避難行動要支援者への支援について」</p> <p>個別避難計画の作成支援業務について、地域生活支援部会災害プロジェクトチームと連携しながら取り組んでいく。（R3～R4の2年間で実施。）</p> <p>(2) プロジェクトチームの活動</p> <p>「高齢分野との連携」</p> <p>① 障害福祉サービスから介護保険へ移行する際の情報提供書の様式の検討</p> <p>② 相談支援専門員増員に向けて、高齢分野への働きかけを実施</p> <p>例：チラシを作成し、配布など</p> <p>※②はR3～R4の2年間で実施</p> <p>(3) 勉強会の活動</p> <p>① 主に報酬について、上手に加算の取組を行っている事業所からの報告及び情報共有</p> <p>② 委託相談と計画相談の連携しているケースの報告及び計画の共有</p> <p>③ 計画相談、委託相談ごとの連絡会の実施</p> <p>(4) その他</p> <p>・相談支援事業所リストの更新・配布</p>

令和2年度及び令和3年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
目的	障がいのある人の地域生活を推進していく上での地域課題について、相談支援事業者や障害福祉サービス事業所等で課題となっている事例等を通じて把握し、不足している・社会資源を満たすための方策を検討する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 障がい者等に係る地域生活課題の解決に関すること</li> <li>② 地域生活支援ネットワークの整備に関すること</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：遠藤委員、岡庭委員、渡邊委員、小久江委員          関係機関：障害者相談支援センターわだつみ、静岡市支援センターなごやか、その他障害福祉サービス事業所、当事者団体          事務局：地域生活支援ネットワークコーディネーター、障害者相談支援推進センター、障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課</p>
令和2年度活動内容	<p>(1) 地域生活支援部会（年2回開催）          1) 第1回地域生活支援部会（令和2年7月6日）          &lt;協議事項&gt;          ①部会長・副部会長の選任          ②部会の活動計画及び運営方法について          ③災害時の障がいのある方への支援等に関するプロジェクトチームの設置について静岡市障害者協会を事務局としてプロジェクトチームを設置することを決定。障がいのある方が災害時に支援を受けられるよう、個別の災害時の支援計画をサービス等利用計画に盛り込むことを検討。          &lt;その他&gt;          ①日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価（新規）          評価対象となる2事業所に対してヒアリングを実施。          2) 第2回地域生活支援部会（令和2年12月9日）          &lt;協議事項&gt;          ①日中サービス支援型指定共同生活援助事業所」の評価等について          令和2年度評価シートの最終確認を行った。（資料2別紙2～3）          ②令和3年度以降の「日中サービス支援型指定共同生活援助事業所」の評価体制について</p> <p>(2) 地域生活支援ネットワーク会議の開催（年2回）          &lt;内容&gt;          ①地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について          ②次期静岡市障がい者共生のまちづくり計画における「地域生活支援ネットワーク」の位置づけや目標について          ③災害時（コロナ含む）における障害者の支援について（相談支援事業所との連携）          ④重層的支援体制の整備について</p>

令和3年度  
活動内容

(1) 地域生活支援部会（年2回開催）

1) 第1回地域生活支援部会（令和3年6月28日）

<協議事項>

① 令和3年度地域生活支援部会の活動計画について

② 静岡市型「日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価」について

→静岡市として日中サービス支援型指定共同生活援助事業所の評価を行う際の高評価施設像について協議を行った。部会内での高評価施設像の案が固まったため、自立支援協議会の中で承認をいただいた後、（本日の議題3）高評価施設像の項目に合わせて評価様式等の見直しを行う。

<報告事項>

③ 「災害時の障がいのある方への支援等に関するプロジェクトチーム」の活動について

④ 令和3年度 静岡市強度行動障がい者支援施設サポート事業について

⑤ 令和3年度 静岡市移動支援事業従事者養成研修について

<その他>

①日中サービス支援型指定共同生活援助事業所の評価

令和3年4月1日時点で指定を受けており、昨年度評価を行わなかった3事業所に対してヒアリングを実施（昨年度評価を行った2事業所については、書面での評価を実施）

2) 第2回部会（令和3年12月を目途に開催予定）

令和4年度以降の日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価様式及び評価方法について協議を行う。

(2) 地域生活支援ネットワーク会議の開催

令和3年9月、令和4年3月（予定）

## 令和3年度「災害時の障がい者支援」に関するプロジェクトチームの活動について

PT事務局 松山文紀（静岡市障害者協会）

### ◆プロジェクトチームの設置目的

障がいのある方からの「避難行動要支援者避難支援制度に登録しても、個別にどのような支援が受けられるのか分からず、不安」という声を受け、障害者施策推進協議会からの提言により、個別避難計画の策定の推進など災害時の障がいのある方への支援等について専門的に検討するため、地域生活支援部会内に設置された。

### ◆令和3年度の主な活動内容

- ・個別避難計画策定モデル事業を実施し、最大58件の個別避難計画を策定する。  
《内訳》静岡市が実施する障害者災害時体制強化事業 48件  
静岡市障害者協会が実施する日本財団助成事業 10件
- ・個別避難計画のうち数件については、11月下旬までに策定し、毎年実施する地域の防災訓練で、計画に基づいて避難訓練を実施することを目標とする。

### ◆令和3年度の主なスケジュール

時期	内 容
6月22日	障害者自立支援協議会相談支援部会における計画相談支援事業所への事業概要説明と協力依頼
～7月16日	計画相談支援事業所・関係団体を通じて個別避難計画策定希望者の募集
～8月中旬	個別避難計画策定者・策定する計画相談支援事業所の決定
8月中旬～ 来年3月末	個別支援計画の策定 ※12月5日(日)の地域防災の日に数名の訓練参加を想定

### ◆プロジェクトメンバー(敬称略)

	氏名	所属	種別
1	江原勝幸	静岡県立大学短期大学部	座長／有識者
2	遠藤智一	すずらん	計画相談事業所／自立支援協議会委員／ 地域生活支援部会副部長／相談支援部会
3	山本忠広	サポートセンターそら	委託相談事業所／地域生活支援部会部長
4	石神志津江	静岡手をつなぐ育成会	育成会副会長／静岡市障害者協会防災委員
5	半田有紀	市社会福祉協議会	市民生委員児童委員協議会事務局
6	塩田 勉	静岡済生会総合病院	小児科医／D-MAT／自立支援協議会委員／ 地域生活支援部会
7	牧野善裕	静岡市障害者協会	当事者団体等／地域移行支援部会／ こども部会
8	宇佐美亜希	市障害福祉企画課	企画管理係
9	安倍千香子	市障害福祉企画課	企画管理係
10	青山遼平	市福祉総務課	地域福祉係
11	松山文紀	静岡市障害者協会	防災担当／本プロジェクトチーム事務局
12	木村純子	静岡市障害者協会	まいむまいむ

## 地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の取組について

目指す姿	障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、入所施設ではなく地域で生活するための5つ機能（相談、緊急時の受け入れ、体験の機会・場、専門性、地域の体制づくり）を整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス体制を構築する。
------	---

### 1 サービス・相談調整コーディネーター共通

令和2年度 活動内容	<p>1 地域生活支援ネットワーク会議の開催</p> <p style="padding-left: 20px;">令和2年度第1回地域生活支援ネットワーク会議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 日時 令和2年9月29日(火) 13:30~16:30</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 場所 静岡市中央福祉センター3階 大会議室</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 参加者 障害福祉・障害保健関係行政機関・地域福祉関係団体・障害者相談支援事業所(委託)・自立支援協議会委員・生活困窮・ひきこもり・発達障害等支援機関・当事者団体等</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 協議内容等</p> <p style="padding-left: 40px;">①地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について(報告)</p> <p style="padding-left: 40px;">②次期障がい者福祉計画(共生のまちづくり計画)における「地域生活支援ネットワーク」の位置づけや目標について</p> <p style="padding-left: 40px;">③各区に分かれてグループワーク</p> <p style="padding-left: 20px;">令和2年度第2回地域生活支援ネットワーク会議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 日時 令和3年3月23日(火) 13:30~16:00</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 場所 静岡市中央福祉センター3階 大会議室</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 参加者 障害福祉・障害保健関係行政機関・地域福祉関係団体・障害者相談支援事業所(委託)・自立支援協議会委員・生活困窮・ひきこもり・発達障害等支援機関・当事者団体等</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 協議内容等</p> <p style="padding-left: 40px;">①地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について(報告)と来年度の事業</p> <p style="padding-left: 40px;">②災害時(コロナ含む)における障害者の支援について(相談支援事業所との連携)</p> <p style="padding-left: 40px;">③重層的相談支援体制の整備について</p> <p>2 地域生活支援部会の開催 詳細は 4ページ</p>
令和3年度 活動内容	<p>現状の課題</p> <p>①障がいのある人が地域で暮らすため、通所、短期入所、ヘルパー事業等在宅サービスの人材養成や事業所間の連携を進める必要がある。</p> <p>②各関係機関において、コーディネーターの役割の認識や拠点の面的整備における当事者意識が十分でない。</p> <p>(引用：静岡市障がい者共生のまちづくり計画、P16「地域生活支援拠点等の機能拡充」)</p> <p>・上記の課題を踏まえ、「地域の体制づくり(面的整備)」の理解を促進するために、「調整コーディネーター」の担当する分野(相談、緊急時の受け入れ、体験の機会・場、専門性)の活動状況(好事例等)の一層の周知に努める。</p> <p>地域の体制づくりの取組</p> <p>◎「専門的」機能として、強度行動障がい児者や医療的ケア児などに対する専門的な支援を行うことのできる人材育成を強化する。</p> <p>◎短期入所の受け入れを行う事業所において、緊急受入の好事例の共有や体験利用の促進により、緊急受入に対応できる事業所数を増加させて行く。</p> <p>◎各関係機関へ地域生活支援ネットワークとコーディネーターに関する周知、協力依頼を行う。</p> <p>(引用：静岡市障がい者共生のまちづくり計画、P16「地域生活支援拠点等の機能拡充」)</p>

## 2 サービス調整コーディネーター

<p>令和2年度 活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染防止対策 令和3年3月ごろより流行の為、拠点事務局「百花園宮前ロッヂ」が入所施設内の為、感染予防の為外出や訪問、会議参加等も控えるよう指示。その為今年度はなかなか活動ができない状況でした。静岡市内の感染リスクを軽減する行動を徹底。</li> <li>●静岡市内短期入所の情報収集 新型コロナ感染症が流行している現在の受け入れ状況の確認アンケート実施 静岡市内感染状況に応じて、新規受け入れを停止している事業所も出てきている状況。 緊急受け入れに関しては、行動履歴確認ができる方や、PCR 検査院生判定後の受け入れ等、受け入れ施設内での感染防止策を検討の上、緊急短期入所や措置での受け入れをお願いする。 今後も感染症の収束は困難と予想されるため、各事業所からの情報収集を行いながら、各相談支援事業所への情報共有を行なっていくと検討中。</li> <li>●令和2年2月実施の静岡市内短期入所事業所連絡会後の一覧表作成 各事業所の受け入れ種別など、利用時に必要な情報を記載 今後、相談支援事業所へ参考資料として情報提供予定</li> <li>●統一の健康診断書様式作成 医師からの意見聴取し、様式作成 静岡市内短期入所事業所へ送付し、内容の検討を行っていただく。結果としては、同じ様式を使う事で利用者負担軽減や情報共有の面で好印象。</li> <li>●共同生活援助事業所の情報収集 日中支援型共同生活援助事業所（2か所）の見学。短期入所枠もある為連携依頼。</li> <li>●緊急短期入所・措置の利用者様の受け入れ要請 相談支援事業所や行政より、緊急受け入れ先の手配実施。（7件）</li> </ul>
<p>令和3年度 活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 緊急時の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所事業所の連絡会の開催にて、現状の把握を行っていく。</li> <li>・短期入所事業所一覧表の作成で、利用がスムーズに利用検討を行っていただけるよう相談支援事業所とも連携。</li> <li>・静岡市共通診断書作成にて、短期入所事業所の利用を横断的に行なえるよう事業所へも利用者へも周知。</li> </ul> </li> <li>② 親亡き後の生活に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所事業所や共同生活援助事業所利用に向けた情報提供。</li> </ul> </li> <li>③ 体験の場の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活援助事業所の連絡会開催</li> </ul> </li> </ul> <p>・地域移行支援部会との連携。</p>



### 3 相談調整コーディネーター

#### 令和2年度 活動内容

- 各行区の障害者相談支援事務局・事務局連絡調整会議・全市連絡調整会議に出席  
各区の情報を提供することにより、地域課題、各区での困難事例の情報を共有するとともに、特別支援学校等とのつながりや放課後デイサービス事業所の情報を伝えることができた。また、委託相談支援事業所以外の困難事例等について、各区会議で協議することができた。
- 相談支援部会との連携  
静岡県障害者支援推進課が行った、「障害福祉サービス事業所におけるコロナ禍の対応」アンケートについて情報共有を行った。  
計画相談事業所が実務上必要な情報共有について、事業所等との連携チラシを作成した。
- 放課後等デイサービス事業所と特別支援学校等との連携  
コロナ禍での学校休業に対応した放課後デイサービス利用児童の様子を特別支援学校等に情報提供することができた。また、市内放課後等デイサービス事業所の協力（パンフレット提供、特別支援学校・学級等との連携についての意見提出等）を得て、特別支援教育連携会議、教育支援部会において、放課後等デイサービス事業所の概要と連携の必要性を説明し、情報の共有に努めた。放課後デイサービス事業所連絡会に、静岡県障害福祉企画課職員、静岡市特別支援教育センターの職員の参加を得て、放課後等デイサービス事業所の意義や児童の共通理解の必要性について理解を深めた。  
放課後デイサービス事業所連絡会の意見交換の中で、特別支援学校への入学に該当する児童への情報が保護者、事業所にいきわたらないという点や、厚生労働省の通知によるコロナ禍での学校休業時の教育施設の放課後デイサービス事業所に対する開放等について理解が進まなかった点などの指摘があった。
- 住宅会社の主催するブルーホーム説明会に参加  
日中サービス支援型共同生活援助事業所に求められる機能や利用者のニーズについて、建物設計上の配慮を求めた。（ショートステイの空床の不足、重度障がい者の受入等）
- 就労支援部会、就労移行連絡会準備会に出席  
特別支援学校新卒者の就労移行支援事業所利用が少ないことについて、特別支援学校や放課後デイサービス事業所との連携が必要であることについて理解を深めた。
- 静岡市障害者協会主催の障害者プラン勉強会に参加  
各障害当事者団体のニーズ把握、8050 問題の対応、新型コロナウイルス感染症の対応について意見交換ができた。
- 東部障害者相談会（由比・蒲原地区対象）の共催  
蒲原出張所福祉系の協力をいただき、2か月ごとに定期的に開催することができた。（5月にはコロナ禍で中止）相談案件のアフターフォローにも努めていきたい。
- 清水区在宅医療・介護・福祉連絡会に参加  
コロナ禍での、医療、介護、福祉分野の対応などを共有できた。
- 静岡市地域福祉共生センター『みなくる』との連携  
「みなくる」が産学交流で連携している県立大学「健康の見える化」プロジェクトや「声から元気に」等の健康増進企画に、障害のある人の参加を進める企画内容となった。
- コロナ禍の対応
  - ① 入所施設における感染リスク分散のために、相談調整コーディネーターの活動場所を静岡市番町市民活動センター内の事務室に移転した。
  - ② 委託相談支援事業所、計画相談支援事業所への緊急アンケート実施  
緊急事態宣言下での、障害児者福祉サービス事業所在宅支援の実施等について、相談事業所との連携が不徹底等の課題が見られた。
  - ③ 計画相談支援事業所から、重症心身障害児の家庭でのアルコール消毒液等の入手が困難という情報を受けて、県、市の支援を受けて基幹相談支援センターと協力し配布が実現した。

令和3年度 活動内容	<p>現状の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援事業所との連携の中で、個別事例の支援等が増加している。基幹相談支援センター、委託相談支援事業所とも協働し課題の整理が必要となっている。</li> <li>・業種別の連絡会は、既存の児童発達支援、放課後デイサービス事業所（葵・駿河区）、同（清水区）の各連絡会に加え、就労移行支援事業所連絡会が発足している。また本年度より、清水区相談支援連絡調整会議の取組として『清水区共同生活（グループホーム）交流会』が3カ月に1回程度定期的で開催される運びとなった。</li> </ul> <p>全ての業種・事業所の情報が網羅されない状況があり、利用者の選択に資する情報にはなっておらず、各区障害者相談支援事務局会議・連絡調整会議とも連携を図り、交流の機会と場を増やす必要がある。</p>
	<p><b>（１）相談調整コーディネート業務</b></p>
	<p>① 地域生活課題の集約と社会資源の整備のための連携調整：静岡市障害者自立支援協議会等との連携（地域生活支援部会の開催含む）</p>
	<p>② 地域に根差した相談支援調整：静岡市東部地域（旧由比町・蒲原町）における相談支援体制の構築</p>
	<p>③ 計画相談支援事業所等との連携調整：計画相談支援事業所等で長期化又は対応が困難な課題の調整及び運営上の課題の調整</p>
	<p><b>（２）「専門性」機能調整コーディネート業務</b></p>
	<p>① 専門性の高い相談支援人材の育成（多職種連携・家族丸ごと支援等）：多職種との事例検討による目標指向型アプローチの視点に立った複合課題のアセスメントと家族支援研修の開催</p>
	<p>② 専門性の高い相談支援人材の育成（更生支援）：触法障がい者の地域定着に向けた課題の検討</p>
	<p>③ 専門性の高い相談支援人材の育成（強度行動障害者支援）：強度行動障支援者研修修了者対象のフォローアップ研修の開催（新規）</p>
	<p>④ 「地域で不足している福祉人材の育成（移動支援従事者研修）：静岡市移動支援従事者養成研修の開催（新規）</p>
	<p><b>（３）ネットワーク会議等の開催、事業者・関係者との連絡調整業務等</b></p>
	<p>① 地域生活支援ネットワーク『まいむ・まいむ』ネットワーク会議の開催</p>
	<p>② 地域生活支援部会の開催</p>
	<p>③ 重層的相談支援体制整備に向けた取り組み：重層的相談支援体制の充実に向けた多職種連携の実践とシンポジウムの開催</p>
	<p>④ 業種別連絡会への参加・障害児・障害者福祉サービス事業所との情報共有：障害児・障害者福祉サービス事業所との業種別連絡会の開催・訪問の実施</p>
	<p>⑤ 教育機関との連携</p>
	<p>⑥ 地域との連携：町内会・自治会・大学・市民活動団体等との連携</p>
<p>重点的な活動内容</p> <p>①新設の計画相談支援事業所との連携、計画相談支援事業所が「地域生活支援拠点の機能を担う」ことを運営規程に盛り込むことについて情報提供を行う。令和3年度から実施される地域生活支援拠点に関する加算制度の情報提供を行う。</p> <p>②困難ケースや地域連携体制強化加算の事例の事前検討、多職種連携事例の検討の場として、毎月定例的に各区で、まいむ&amp;基幹アウトリーチ相談会を実施する。（事例によって必要な相談機関に参加を依頼する。）</p> <p>③各区で行う連絡調整会議と連携し、種別ごとの事業所と更なる連携、情報共有を図る。</p> <p>④移動支援従事者養成研修、強度行動障害支援者研修修了者に対するフォローアップ研修が円滑に実施できることに努める。</p>	

令和2年度及び令和3年度 専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者等の権利擁護・虐待防止に係る普及啓発に関すること。</li> <li>・障がい者等の虐待事例の情報共有及び事例検証に関すること。</li> <li>・障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討に関すること。</li> </ul>
部会員	自立支援協議会委員：劉委員（部会長）、北島委員、渡邊委員 関係機関：わらしな学園、社会福祉士会、静岡県精神保健福祉士協会、静岡県弁護士会 障害者就業・生活支援センターさつき、障害者相談支援推進センター 事務局：障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課
令和2年度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回部会にて次の2点についてマニュアル改訂のための協議を行った。               <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）コア会議への専門家（弁護士・社会福祉士・精神保健福祉士）の派遣について</li> <li>（2）虐待ケースの終結の定義、見守りのルール の制定</li> </ul> </li> <li>・虐待事例検証会議を開催。第1部を事例検証、第2部をグループワークの構成で実施。スーパーバイザーから助言・講評をいただき、今後の障害者虐待の対応力向上を図った。</li> <li>・第2回部会にて、第1回部会で議題となったコア会議への専門家の派遣方法及び虐待ケース終結の定義、見守りのルールについて再度協議を行った。 ⇒協議内容を踏まえて令和3年3月にマニュアル改訂を行った。</li> </ul>
令和3年度活動内容	<p>第1回部会 令和3年6月16日（木）午後2時00分～</p> <p>【議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）令和3年度 権利擁護・虐待防止部会の内容について</li> <li>（2）「静岡市障害者虐待防止マニュアル」の見直しについて</li> </ul> <p>※以下の2点についてマニュアル改訂のための協議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談・通報・届出受付票の様式変更について           <p>令和2年度第2回部会にて、部会員より提案された「受付票に詳細な情報記入欄を追加する様式変更」の必要性を確認した。初動の受付票の用途としては、既存の様式で十分機能していることから、様式変更を行わないこととした。</p> <p>ケース調査を進めるにつれて、詳細な情報を収集・記録することができるアセスメント要約票は、有用性があるため、今後本市マニュアルに、様式及び使用方法等を追加していくこととした。</p> </li> <li>2. コアメンバー会議録（2回目以降）の様式作成について           <p>1回目の会議と2回目以降の会議では、決定すべき事項が異なるため、それぞれに専用の様式を設けることとした。それぞれの様式について、追加すべき項目、廃止すべき項目を検討した。</p> </li> </ol> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）令和2年度障がい者虐待防止講演会アンケート結果について</li> <li>（2）成年後見制度に関する動向について</li> </ul> <p>第2回部会 令和3年10月に開催予定</p> <p>アセスメント要約票の使用方法及びコアメンバー会議録の新様式についての協議を行う。</p> <p>その他</p> <p>可能な限り年度内に、虐待防止センターへの委託内容、及びマニュアル・様式の活用方法等について、何らかの形で関係機関を集め、確認と研修の機会を設ける。</p>

令和2年度及び令和3年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者等の就労に係る課題の共有及び解決に関すること。</li> <li>・障がい者等の就労に係る支援の連携に関すること。</li> </ul>
部会員	<p>自立支援協議会委員：市川委員、間宮委員、伊藤委員、中村委員            関係機関：計画相談支援事業所、就労移行支援事業所、静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター、障害者相談支援推進センター、就労継続支援事業所、その他就労支援関係機関、商業労政課            事務局：障害福祉企画課、精神保健福祉課</p>
令和2年度活動内容	<p>○第1回就労支援部会の開催            日時：令和2年6月15日（月）午後2時から午後4時まで            内容：（1）就労移行支援事業所連絡会の立ち上げについて            （2）令和2年度中小企業向け雇用管理セミナーについて            （3）障害者雇用への支援＜新型コロナウイルス感染症関連＞            （4）令和2年度ゆうやけ相談会の開催について</p> <p>○市内企業への雇用継続依頼文送付            概要：令和2年6月1日に開催された障害者自立支援協議会 運営会議において市内企業に対し、障害者雇用の維持・推進のための協力依頼を、就労支援部会として行うことが決定した。通知内容は、依頼文に加えて①障害者雇用の維持・推進に関するメッセージと企業が障がい者雇用についての相談を行えるよう、②部会員からのメッセージを添えて市内企業へ送付した。            送付対象企業：令和元年6月1日時点で障害者雇用実績のある市内企業            送付方法：ハローワーク静岡に協力を依頼し、郵送にて送付。            実施時期：令和2年7月末</p> <p>○第8回ゆうやけ相談会の開催            日時：令和2年9月18日（金）            会場：5風来館4F            来場者数：2人</p> <p>○就労移行支援事業所連絡会 準備会の開催            日時：令和2年10月29日（木）            会場：静岡市役所静岡庁舎本館3階 第1委員会室            参加事業所：市内就労移行支援事業所13事業所のうち、11事業所            内容：行政説明（障害者自立支援協議会、就労支援部会、静岡市障がい者共生のまちづくり計画等）、就労移行支援事業所紹介、現在の支援状況の意見交換を行った後、参加事業所の総意により、連絡会の発足が正式に決定。</p> <p>○第2回就労支援部会の開催            日時：令和2年12月9日（水）午後2時から午後4時まで            内容：（1）静岡市における障がい者就労支援体制整備状況について            （2）令和3年度の活動内容について            ①就労移行支援の取組</p>

	<p>②就労定着支援の取組 ③就労継続支援に関する取組 (3) 就労移行支援事業所連絡会の開催について</p>
<p>令和3年度 活動内容</p>	<p>&lt;令和3年度活動予定&gt;</p> <p>○障害者就職面接会に出展する就労移行支援事業所の取りまとめ 概要：令和3年度以降の障害者就職面接会にブース出展可能な事業所情報を取りまとめ、参加可能な事業所でローテーションを組み、持ち回りで面接会へ参加してもらうように部会として働きかける。</p> <p>○就フェスの開催 概要：雇用に関する関係機関及び関係団体とで、障害者雇用についての企業理解の促進を図り、障害者就職面接会と連携を図りながら、令和3年度の就フェス開催に取り組んでいく。</p> <p>○ゆうやけ相談会の開催方法の検討 概要：第8回（令和2年度）ゆうやけ相談会については、新型コロナウイルス感染症の影響で、1回の開催となり、参加者数は2名に留まった。令和3年度についても、感染症拡大傾向にあることから、安心・安全に配慮した事業の見直しを図り、開催方法や時期について、検討していく。</p> <p>○就労移行支援事業所連絡会の実施 実施時期：令和3年5月11日 開催。 目的：各事業所が抱える課題や情報を共有し、課題を検討するため。また連絡会を作ることにより「まいむまいむ」につながる。 概要：放デイの事業所見学や、障害者就職面接会との就フェス合同開催について取り組んでいく。</p> <p>○第1回就労支援部会の開催 概要：令和3年6月15日開催。 内容：（1）令和2年度就フェスの振り返りと令和3年度就フェスについて （2）令和3年度ゆうやけ相談会について</p> <p>○第2回就労移行支援事業所連絡会の開催 概要：令和3年8月を目途に開催予定。</p> <p>○第2回就労支援部会の開催 概要：令和3年12月を目途に開催予定。</p>